



THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A. THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-11
山梨Y.M.C.A.青少年センター
〒400-0032 TEL 055-235-8543
FAX 055-235-8553

国際会長主題：私たちは変えられる
アジア太平洋地域会長主題：アクション！
東日本区理事主題：為せば、成る
あずさ部長主題：未来はそれに備える人のものである
甲府21クラブ会長主題：世代を超えて、笑顔で奉仕

Moon Sang-bong (韓国)
田中 博之 (東京多摩みなみ)
宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)
廣瀬 健 (甲府21)
野々垣健五

甲府21ワイズメンズクラブ
2018年8月会報
強調月間
CS

今月の聖句

彼は昼も夜も墓場や山で叫んだり、石で自分を打ちたたいたりしていた。イエスを遠くから見ると、走り寄ってひれ伏し、大声で叫んだ。「いと高き神の子イエス、かまわないでくれ。後生だから、苦しめないでほしい。」イエスが、「汚れた霊、この人から出ていけ」と言われたからである。

マルコによる福音書5章5～8節 功刀 弘 選

会長挨拶「世代を越えて笑顔で奉仕」

甲府21ワイズメンズクラブ会長 野々垣健五



野々垣健五会長

酷暑、炎暑、猛暑等の文字が目立つ、暑さ厳しい日が続いております。キックオフ例会後、毎日、沢山のメールがパソコンに届いて参ります。そのほとんどが各地のワイズのブリテンです。東日本区、理事通信、あずさ部長、あずさ部の方々のメールには目を通し、それ以外のメールはスルーしております。この度、私の業務に「東山荘の運営委員」という業務が付け加えられました。1年に4回、東山荘の赤字脱却について検討する会合で、2万坪にのる事業収入高の少なさを如何に考えるか？という事であります。8月4日(土)、8月11日(土)は甲府21ワイズメンズクラブとしての奉仕活動に、また、8月7日(月)、10日(金)には甲府YWCA主催「ピースフェスタ」の準備、片付け、支援にと、佐藤前会長らに頑張ってくださいました。ご参加の皆様、有難うございました。それぞれのスタッフの皆様の働きには本当に頭が下がります。私にとっても二つ共、大変よい勉強になりました。

私は心筋梗塞よりの快復後1年を迎えました。7月4日の定期健診で、全ての冠動脈が順調に動いているとお墨付きをもらいました。が、最後に入れたステントが今年の10月26日だったので、あと4ヶ月は経過をみるとの事です。食事管理等を怠る事なく、体調の現状維持を心掛けて、猛暑を乗り切っていきたいと思っております。

皆様、充分にお気を付けいただき、この夏を乗り切りましょう！！

2018年8月納涼例会プログラム

日時：2018年8月26日(日)14:30～

会場：一古園 住所：山梨県甲州市勝沼町等々力1327
司会：米長晴信メン(一部・二部)

■第一部 甲府21ワイズメンズクラブ例会

- ①開会点鐘 野々垣健五会長
- ②ワイズソング・ワイズの信条
- ③今月の聖句と一言 功刀 弘メン
- ④会員スピーチ 佐藤重良メン
- ⑤会長挨拶 野々垣健五会長
- ⑥ゲスト・ビジター紹介 野々垣健五会長
- ⑦来賓挨拶
- ⑧諸報告 寺田喜長書記

■第二部 懇親会

- ①ハッピーバースデー
- ②全員スピーチ
- ③歓談(手品・近況報告など)
- ④YMCAの歌
- ⑤閉会点鐘 野々垣健五会長

※進行は変更になる可能性があります

【8月誕生者】[メン]駒田勝彦 8月6日、輿水順雄 8月6日、藤原琢也 8月7日、飯田 剛 8月30日

【メネット】相川泰代 8月8日、佐藤すみ 8月19日、後藤征子 8月30日、山県洋子 8月30日

会員在籍者数	30名
7月第1例会出席者	26名
7月第2例会出席者	23名
メイキャップ他行事参加	13名
出席率	93.30%

項目	ニコニコボックス	バザー収益金	クリスマスオークション	BCコンサート募金	街頭募金ファンド	切手
目標値	250,000	50,000	50,000	50,000	50,000	5,000g
7月の計	24,290	—	—	—	—	—
7月末までの合計	24,290	—	—	—	—	—
達成率	9.70%	—	—	—	—	—

2018年7月キックオフ例会報告

甲府21ワイズメンズクラブ書記 寺田喜長

2018～2019 年度キックオフ例会はあずさ部長公式訪問に加え、宮内東日本区理事の出席を頂き開催されました。

例会セレモニーに続き、東日本区理事及びあずさ部長の挨拶と、今年度の方針についてお話を頂きました。続いて総会を開催、佐藤年度の事業報告、会計報告、会計監査報告及び次期役員を承認、佐藤会長が野々垣新会長に会長バッチを引き渡し、今年度事業計画案、予算案、及び会則一部変更の件を承認し総会を終了。続いて入会式にて、飯田、作田、露木、藤原の4名のメンが誕生し、会員数が30名になりました。第二部の懇親会で一部のゲストの方からしかご挨拶を頂けませんでしたがお忙しい中ご出席頂き、加えまして暖かいご支援の御言葉を頂き有り難うございました。短い時間でしたが、良い時間を共有でき感謝です。



キックオフ例会の様子
=2018年7月3日 甲府・割烹石川

日時：2018年7月3日(火) 18:30～
会場：割烹石川

出席者：[メン] 相川、赤根、飯田、荻野、小澤(公)、小澤(智)、鎌田、功刀、輿水、後藤、駒田、作田、佐藤、清藤、茅野、露木、寺田、野々垣、廣瀬、藤原、古屋、松村(禎)、葉袋、山県、山本、米長(26名)

[メネット] 荻野、清藤、寺田、野々垣、廣瀬、松村(仁)(6名)

[ゲスト] 宮内東日本区理事、板村東日本区書記、小山東日本区事務所長、菰刈あずさ部会員増強事業主査、神谷幸男(東京西)、田草川すみ江(甲府YWCA会長)、露木淳司(山梨YMCA総主事)、小澤建司(地創会長)(8名)

新入会員プロフィール紹介

露木魁人 藤原琢也 作田あずさ 飯田 剛



露木魁人

最終学歴：山梨大学教育人間科学部

趣味：アウトドアスポーツ、料理 etc.

社会人になり4年目を歩んでいます。日々の勉強、日々感謝、時々飲兵衛。楽しさや厳しさを学びながら、そんな毎日を過ごしています。ワイズメンズクラブを通して自分

を磨き、さらに広い世界を知りたいと思っております。よろしくお願ひ致します。



藤原琢也

1972年8月7日生 46歳 独身

東海大学法学部卒

大学卒業後、富士火災(現AIG損害保険)直販社員入社、平成13年、3人で独立し現在の株式会社リンクスに至る。

役職 取締役

資格 一般社団法人日本損害保険協会認定 損害保険トータルプランナー

趣味 婚活(冗談です)。特にないです。



作田あずさ

静岡出身・清里在住 10月23日生・O型
夫・長男・長女+子犬2匹

学童保育で働きつつ、子供達が自由に遊べる羊毛工房を清里で開いていました。鎌田先生のご紹介により娘が卓話させて頂いたことが入会のきっかけです。



飯田 剛

1941年8月30日 中国青島(チントウ)生まれ。長野県諏訪で育ち今日に至る。父が機械販売を手がけていたことからなんとなく家業を継ぎました。当時は甲州商人が、長野県へたくさん進出していました。

私は逆に山梨県へ進出しました。今から50年前のことです。それ以来たくさんのお客様・知人が出来て、今回甲府21クラブへ

入会するご縁にもなりました。現在の私の仕事は、「LED大型照明」(倉庫、工場向けやスポーツ施設グラウンドなど)器具の製造販売と、「未来の空調」(風もなく、音もない光冷暖)の販売です。どちらも「省エネ環境保全」(CO₂削減)が目的です。仕事を通じて、未来の子ども達によりよい環境を残していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

あずさ部評議会報告

甲府21ワイズメンズクラブ副会長 荻野 清

2018年7月14日、第1回あずさ部代々木の杜評議会が、東京サンライズのホストで、国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催されました。2018-2019年度あずさ部の執行部体制は当クラブの廣瀬健部長、古屋秀樹書記及び松村禎夫会計からなり、廣瀬丸出航の評議会でした。

廣瀬あずさ部長の開会点鐘にて開会され、ホストクラブである東京サンライズクラブ大谷博愛会長の歓迎あいさつでは、来年がサンライズのチャーター30周年の節目の年ということで、この機に新しい力を確保して新サンライズづくりを目指した

いと抱負を語っていました。

評議会は、廣瀬あずさ部長のあいさつに始まり、前年度決算案及び本年度予算案の議案審議が行われ、満場一致で結審されました。次に、廣瀬部長からの東日本区役員会報告後、あずさ部長の主題・スローガンに基づいた各事業主査の抱負・事業計画が、“会員増強事業” 菺淵光彦主査、“地域奉仕・YMCAサービス事業” 丹後佳代主査、“国際・交流事業” 小池亦彦主査及び“ユース事業” 小口多津子主査の4名から発表されました。

続いてクラブ活動方針として、各ワイズメンズクラブ会長が主題に基づく抱負を熱く語っておりました。当クラブの野々垣健五会長は、本年あずさ部長を輩出している中で、キリスト教とYMCAとワイズの活動のマッチングによるクラブの活動強化、また、山梨YMCAの将来計画に向けての財政面、新会館建築に向けての支援とこれに付随する事業への協力、そして第2回目となるベビーカーコンサート開催を重点目標に掲げ、行事や活動への積極的参画を語っておりました。その後、恒例の記念撮影が混乱なく行われ、懇親会へと移りました。

懇親会は、同センター内にある“カフェ・フレンズ”で行われ、東日本区理事の宮内友弥様（東京武蔵野多摩クラブ）の発声で乾杯が行われ、それぞれが和気藹々のなか有意義な時間を享受されていました。今回は、当クラブ新会員の飯田メン、藤原メンには、入会間もない7月の多忙なスケジュールのなか、ワイズメンの初イベントへご参加いただきましたことに感謝いたします。また、来る10月20日は、当クラブがホストとして開催する“あずさ部会”です。クラブ員全員が参加のもと盛り上げていきましょう。



第1回あずさ部代々木の杜評議会
=2018年7月14日 国立オリンピック記念青少年総合センター

育精福祉センター納涼祭に参加して 甲府21ワイズメンズクラブ 藤原琢也

南アルプス市の育精福祉センター納涼祭に参加しました。夕立が降りそうな天候で心配しましたが、雨も降ることなく多数の参加者で無事に盛大に行われました。

記録的な猛暑が続く中で飲み物コーナーは大盛況で開始から花火の終了までほとんど途切れることなくドリンクなどを提供しました。笑顔で冷えたドリンクを飲んでいる姿を見て心

が和みました。子ども神輿、カラオケ発表、盆踊りなど様々な内容で納涼会は進行しましたが初参加の私は鑑賞する余裕すらありませんでした。限られた時間の中で入寮者、ご家族の方々、職員の方と貴重な体験をさせて頂き楽しかったです。

反省として私個人は3流のウェ이터でしたので来年は1流のおもてなしを出来るようにしたいと思います。



本栖湖キャンプ暑さの中無事開催 甲府21ワイズメンズクラブ 露木魁人

7月30日から8月1日、及び7月31日から8月1日に本栖湖は浩庵キャンプ場を舞台に山梨YMCA主催のうきうきキャンプ、わくわくキャンプが行われました。それぞれのキャンプが同じ場所で行われることとなった今回のキャンプでしたが、暑さや夏風邪から、今回は子どもたち総勢12人という小規模のキャンプとなりました。廣瀬メン夫妻のご協力もあり、カヌーのほかに山登りやSUPなどの体験もおこなうことが出来ました。暑さから屋外プールが閉鎖するという異常事態の中、天然のプールで子どもたちははしゃぎまわり、初めてキャンプに参加した子が多かったものの怪我や事故もなし。帰る日には初めて会った子どもたちとは思えない仲の良さを見せつけてくれました。



**東京武蔵野多摩・松本クラブ・原村合同例会
甲府21ワイズメンズクラブ 茅野 崚**

台風 12 号が迷走しながら例会予定地の原村を避けて西日本の方へ行ってくれたことを手放しで喜ばません。前日の中国地方水害罹災地を再び直撃したからです。私は 10 年来、甲府クラブの鈴木メンと毎年訪問していました。甲府クラブの田草川姉も同道しました。廣瀬あずさ部長の公式訪問と米長メンの卓話を中心に 25 名の出席で、「こひつじ幼稚園」の中村園長と職員の方々の心のこもった手料理（原村例会名物）で楽しい時を過ごしました。

米長メンの卓話は「情報発信の技術・心得」と題してフジテレビの報道記者として、あの激しかったイラクやパレスチナ、アフガニスタンでのレポート映像を通して、「情報を取る技術」で面白い話をしてくれました。それは取材に行く時は背広ネクタイでは相手にしてくれない、彼は現地の衣装である白衣「Disdash」を自弁で誂えて着ていたら取材に応じてくれたというものです。他にも発信する心得として相手が何を求めているのかということについては、準備の心得やレジュメを効果的に使うこと、話し手と聞き手を一体化させること、冒頭にしっかり自己紹介をすること、スピーチの内容をしっかりと伝えること、与えられた時間を正確に守ることなどを説明してくれました。彼のテレビ局時代の働きは、映像を通して、私たちの日常生活における行動の示唆を与えられました。



**会員ペンリレー 歩く
甲府21ワイズメンズクラブ 稲垣浩司**

歩くことが好きでした。学校の帰り道も廻り道が当たり前でした。20代のころは、東京近郊へお弁当を持ってハイキングによく行きました。ある時、ふくらはぎをぶつけて痛めてしまいました。足の指先を持ち上げようとしても、自分の意志に反して全く動かない状態になりました。ふくらはぎの筋肉がほころびているので冷湿布して安静にして回復を待つ治療法になりました。1ヶ月ほど、家の中でハイハイをして過ごしていました。その後1ヶ月ほど松葉杖を使いましたが、杖の要らないまでに回復しました。ある日、私の10mぐらい前に足の悪い老人が歩いていて、私と同じ歩き方をしているのです。歩く早さも

同じなのです。私がふざけてまねをしているような様子に見えるのだろうと思い、しばらく伏し目がちに気まずく歩いたことがありました。普段何気なく行っている歩くという動作がとても複雑で、なめらかにコントロールされていたのだとあらためて気付きました。かかとから着地して、足の裏で地面を捉え、足指で蹴り出すという流れの連続、左右に倒れないバランス調整。1歩1歩踏みしめる充実感を感じたことを覚えています。

会社の帰りに東京駅から地下鉄東西線に沿って、日本橋、茅場町、門前仲町まで（途中で乗るときもありますが）3駅ぐらい歩いて帰るのが日課でした。都心から下町に向け町の様子に変化していく様が飽きない帰り道でした。

歩くことが好きだったのに、甲府に来てから歩かなくなりました。電車に乗らないで車に乗ることばかりになり、気がつくとも歩くことが少なくなりました。私は現在、体重が増えているので、医者から歩くように指導されています。同じように、健康のために歩いている友人たちも多くいます。私は健康のために、甲府の町を歩いています。

**YMCA便り インターナショナルな環境づくりを目指して
山梨YMCA総主事 露木淳司**

この7月、甲府市の中央保育所跡地が正式に山梨YMCA所有の土地として登記されました。いよいよ、これから2020年のグランドオープンに向けて、事業内容、設計内容の詰めの作業に入ります。その中で、新たに甲府市からの期待を受けて検討を始めているのが国際交流事業です。現在甲府市には大きく分けて三種類の外国人が存在します。それは外国籍市民の方、県内の大学に通う留学生の方、そして外国人観光客です。この中で、まずは外国籍市民の方々にそれぞれのお国の文化を紹介していただくイベントを定例的に開催していきたいと考えています。つまり、音楽やクラフト、料理、衣裳などを紹介していただきながら、インターナショナルなネットワーク作りに挑戦します。また、留学生や日本人の大学生が、自由に立ち寄れるフリースペースを設け、外国籍市民への日本語学習や、その子どもたちの学習支援も視野に入れて、そこにボランティアとして関わる人材を養成します。

そして同時に日本人小学生の学童保育や0,1,2歳児の小規模保育所、発達障がい児の児童デイ、高齢者のデイサービスなどYMCAの全ての事業に関わっていただくことで、自然にインターナショナルな感覚溢れる環境を創出します。そして、観光客に向けては通訳ガイドの養成講座を開設し、甲府市の教育委員会と連携して歴史施設を巡るツアーを企画します。そしてゆくゆくはかつて山梨YMCAが実施していた、スーインディアンやタイの人々との交流を再開したり、地球規模の新たな関係作りを実現したりできないかと、夢見ています。

■今後の予定

9月 4日 (火)	第1例会
9月 19日 (水)	第2例会
10月 2日 (火)	第1例会
10月 16日 (火)	第2例会